

自立と共生！

たくましい日本！

No. 185号

民主党 中川正春の

## 永田町かわら版

2003年2月17日

〒100-8981 千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館 428号

TEL 03-3508-7128 FAX 03-3508-3428

<http://www.MASAHARU.GR.JP>

E-mail g03063@shugiin.go.jp

## ◎国会の論戦と重要課題

国会の情勢がどんどん移り変わってきています。予算の組替え案まで出して議論に臨んだ04年度予算。野党4党が共同提案した医療保険の患者負担2割据え置きを求める法案の審議が焦点になってきます。タバコや酒、特別配偶者控除の廃止による所得税増税、等とあわせると、庶民の負担が年12万円ほど増えることとなります。まず、医療保険制度を構造的に抜本見直しをして、将来まで安心のできる形を国民にしめすこと。今度のように、不足すれば値上げのなし崩しでは、皆、益々不安になる。このことを、今、国会で議論しようと言うのです。

**イラク情勢も焦点になります。**小泉政権は、アメリカのイラク攻撃に対して、賛成も反対も表明しません。その実、裏で国連の非常任理事国に対して、アメリカが空爆のための新しい決議を提出すれば、それに賛成するよう働きかけていると言います。北朝鮮の問題でアメリカの世話になるから、イラクの問題では、このような形でアメリカに協力すると言うことです。あまりにも大儀に欠ける日本外交が情けなくなります。現状では、少なくとも日本は、査察の続行を主張すべきです。アメリカが、テロとの戦いを越えて、イラクのフセイン政権の打倒と親米新体制構築に走りすぎている事が世界に不審を募らせていると、日本は率直な懸念を表明すべきだと思います。

3月期の決算を控えて、**産業再生機構を中心とする企業の整理再編支援の法案が提出されました。**銀行から持ち込まれた要注意債権企業の生き死にを、産業再生委員会の12人の委員が決めます。再生すると決めれば、メインバンク以外の債権を、債権放棄などを進めながら再生機構が肩代わりして買い取り、産業投資銀行などから追い貸しなどして、生き返らせようと言うものです。個別の企業だけの生き死に議論は、モラルハザードを起こします。一つの産業

最近、司会をしていて、気づいた事は、意見をまとめる側よりも、思い、思い自由に発言する側のほうが、はるかに楽しそうだという事です。

## ◎北朝鮮国境地帯を行く その5

延辺大学での高敬洙先生との会談を終える頃には、キャンパスの中も学生達の姿で賑わってきたものの、厳寒の中で、彼らは、黙々と歩きます。

車は、再び町の中を走って、ホテルに向かいました。会見室では、西門順基副州長が、にこやかに出迎えてくれましたが、ここでも、テレビクルーとひと悶着。地元テレビが、会見の様態を取材するにもかかわらず、日本のテレビは、ダメだと言います。私が割って入って、地元テレビの取材ビデオを後から日本側に提供する事で、ようやく話がつかまりました。

それぞれが、定位置にすわり、会談の儀式。例によって、西門さんは、にぎにぎしく歓迎の弁を述べ、延辺州の歴史やら、日本との友好関係と将来の開発に向けた日本の技術援助や投資への期待を話続けました。このままでは、儀式だけで一日が終わってしまうと、私も少し焦りながら、彼の話の途中で遮る形で、単刀直入に、「**北朝鮮からの難民の現状を理解するために延吉に来た事。中国当局は不法侵入として逮捕、北朝鮮に送り返していることが、向こうでは強制収容所に入れられ、拷問や殺害などの人権抑圧に繋がっている現実がある。この延辺州で、国連が難民キャンプを作ることに州政府としても協力できないか。**」と、切り出しました。この途端、西門さんの表情が見る見る厳しくなり、自分の部下達の顔を睨みながら、「自分達は、彼らを政治難民とは見ていない。北朝鮮から、食べ物や物資を求めて、不法に入国してくるだけのことだ。延辺の住民は、北朝鮮国内に親戚や友人を沢山持っているから、これを助けている。北朝鮮では、第三国に亡命

をとらえて、全体の企業活動を再構築する想定になっているかどうか、ポイントだと思います。

この後も、焦点になる法案は、続きます。おいおい、ここで紹介する事にしますが、民主党の「次の内閣」の中でも、活発な意見が交わされています。

する意思を持ち、韓国などの工作人員と接触してスパイ活動をしたと疑いをもたれる脱北者のみを収容所に入れて取り調べるだけだ。」と、話す言葉に力が入ってきます。（次回につづく）